



令和 元年度

# 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす南谷山  
鹿児島市小松原2丁目23番30号

電話 099-267-6611

FAX 099-267-7311

メールアドレス [minamitaniyama@medicorp.co.jp](mailto:minamitaniyama@medicorp.co.jp)

令和2年3月31日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（事―①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月15日(19:00~20:00)
------------------	-----	------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽 川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田
-------------------	------	--------------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	12人	0人	1人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規受け入れ時に行うミーティングはもちろん、当日参加できなかったスタッフも個人ファイルの情報をきちんと把握して、ケアに臨むように心掛ける</li> <li>・利用開始直後の方についての支援は、当然の事として戸惑いがあるものなので、日々の介護記録、支援経過にきちんと記録を行い、記録を確認することで把握に努めるようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用者に関して個人ファイルに情報を集中するが、申し送りノートにもポイントを記載するようにしており、全職員が事前把握してからケアに臨むようにしている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	12	1	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	4	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	10	1	1	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	11	1	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前にミーティングを行い、基本情報を共有している</li> <li>・利用開始時は、まず自己紹介を行うなど、自分から声をかけるよう心掛けている</li> <li>・新規利用者と話ができそうな他利用者との橋渡しをしている</li> <li>・初日は、顔つながりのあるケアマネや管理者ができるだけ対応するよう配慮している</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の事前情報について、全員が情報を十分把握しきれないことがある</li> <li>・利用開始間もない頃の記録が不十分な場合があり、直接対応する迄に状態像が掴みきれないことがある</li> <li>・利用者をよく把握しきれない場合、気遣いが不足していたり、対応が難しいと感じることがある</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネや管理者以外の職員が担当者会議に出席したり、事前に面会の機会が持てるようにする</li> <li>・介護記録については通常リーダー職員を中心に記載しているが、利用開始間もない頃は特に、関わった職員が対応した場面の様子や気づいた点を意識的に記録に残すようにする</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 15日 (19:00~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	2人	0人	15人

前回の改善計画	・カンファレンス内で、ケアマネージャーや担当者から「本人の目標」や「担当者としての思い」を共有する取組みを行っており、その取組みを継続して行いながら、職員による差異を少なくしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当利用者に関する「利用者本人の目標」や「ケア内容への担当職員の思い」については、必ずカンファレンスの場で各々述べるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	9	2	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	9	2	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	9	4	0	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	10	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランを確認し、ご本人の「～したい」という思いを大切にしている</li> <li>・本人の目標を理解してプランに取り入れ、目標達成の為にスタッフ同士協力し合い、目標に向かって日々歩行練習をするなど、具体的な取組みを進めてきた</li> <li>・目標に対してできていない点については、カンファレンスの中で取組みを共有できるよう伝えている</li> <li>・カンファレンスに毎回参加することで、利用者の情報収集が出来る</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の担当利用者以外の人ことはあまり分かっていない</li> <li>・日々の介助に追われることがあり、目標を目指した関わりが、毎回はできていない</li> <li>・カンファレンスでの発言を積極的にできていなかったり、目標も常には意識できていない</li> <li>・利用者によっては利用回数が少ないなど、関わりが少ない場合もあり、充分達成できていない事がある</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年1月から記録様式が変更され、利用者ごとの記録の中に「達成すべき目標」が記載されるようになったことで、記録の際に確認することができるので、個々の利用者の目標を意識しながら日々のケアに臨むようにしていく</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 15日 (19:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	12人	1人	0人	15人

前回の改善計画	・カンファレンスについて時間配分などを整理し、以前の暮らしや送迎時に把握した情報などについて、全職員で話し合いをする時間を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・送迎時に把握した内容については情報共有するようにしているが、以前の暮らしの把握は弱かった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	4	8	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	9	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	4	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	11	0	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	11	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の関わりや会話から、これまでの暮らしの話をするよう心掛けている</li> <li>・自分の担当者については、以前の暮らし方は把握できている</li> <li>・常に利用者と話や関わりを持つようにし、変化に気付き、利用者の状況に合わせた対応はできている</li> <li>・送迎時に把握した情報は伝えるようにしている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスが、十分な話し合いの場になっていない</li> <li>・担当利用者以外はあまり把握できていないところがあり、以前の暮らし方の把握は不十分である</li> <li>・「以前の暮らし方」について、全員を10個以上把握するのは難しく、本人の気持ちをチームで考える事も十分できていない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月開催のカンファレンスの進め方については全員を一律に行うのではなく、担当利用者の課題を選択し討議を深められるようにする</li> <li>・利用者の地域における暮らしの把握に努め、担当利用者の「軒下マップ」の作成をできるようにする</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 15日 (19:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	8人	1人	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議やカンファレンス内で、利用者を取り巻く関係者についてまとめた「軒下マップ」についてその都度説明を行い、変化があった際には追加や変更をしていくものであるということについて、少しでも職員内での理解が進むようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>「軒下マップ」についての説明や意見交換の時間が十分ではなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	3	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	6	1	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	6	1	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	9	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活スタイルや人間関係など、本人と話したりや家族から伺ったりしている</li> <li>関係が切れないう近所の方と会ったら、挨拶するようにしている</li> <li>初回利用時や「その人らしさ」をアセスメントする際、把握している</li> <li>カンファレンス等以外でも、利用者との会話などで理解する事ができている</li> <li>送迎時に家族から聞いたり、本人との会話から引き出すようにしている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用のない時にどのように過ごしているのか、分からない方がいる</li> <li>連絡帳への御家族からのコメントがなく、自宅での状況が分からない方もいる</li> <li>「軒下マップ」の活用や地域のつながりの把握が不十分</li> <li>地域との関わりが少なく、近所の方や本人の暮らしに必要な民生委員の方等、地域資源の把握が弱い</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者を取り巻く資源に対する意識をもち、日常的に「軒下マップ」への書き込みを行うようにする</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 15日 (19:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	0人	2人	15人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化しても自宅での生活が継続できるように、関係者との連携を密にし、利用変更があった場合には連絡を行うなど、支援の輪の中に地域の方が入るような取り組みを行う。</li> <li>・利用者の意向を最優先として、小規模多機能ホームの特性を活かし、「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせた柔軟な支援を継続して行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取り組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の重度化やその時々状況に変化に応じて、必要な「通い」「訪問」「宿泊」等を組み合わせる柔軟な対応を行った。その中で、事業所として初めてご家族が望む自宅での「看取り介護」を支援できた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	6	2	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	9	0	2	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	11	1	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族の状況による必要に応じたサービス内容については、職員間で連携を取り対応できている</li> <li>・状況に応じた適切な支援ができている</li> <li>・本人のニーズや状況に応じて、随時、「通い」「訪問」「宿泊」等の柔軟な対応ができている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・泊りの人数が増えており、急な泊りの希望に応えきれないことがある</li> <li>・認知症の進行など重度化していく方を、地域で支援していくように取り組む事がなかなか難しい面がある</li> <li>・地域の資源に何があるのか理解出来ていない</li> <li>・地域のインフォーマルな資源も活かしきれない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を取り巻く、地域の資源について把握するよう努め、地域を含めた支援を行う</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 15日 (19:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人 (0)	8人 (7)	4人 (4)	2人 (4)	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中に入っていき「小松原カフェ」「夏祭り」「清掃活動」への参加と、地域の方にホームに来ていただく「行事バザー」「認知症等見守りメイト実習受け入れ」に取り組む。</li> <li>・担当者会議当日の勤務を可能な範囲で調整し、参加する職員を担当者だけでなく広く参加してもらい、ケアプランの理解や関係事業所との繋がりについて触れる機会を増やすように取り組む。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り地域の活動への参加に努め、「認知症見守りメイト実習」等、受け入れに応じてきた。</li> <li>・運営推進会議や担当者会議等へ、一般職員が参加できるよう勤務調整に努めた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2 (0)	4 (5)	1 (0)	8 (10)	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0 (1)	4 (1)	1 (0)	10 (13)	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0 (1)	4 (3)	4 (2)	7 (9)	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0 (1)	4 (4)	4 (5)	7 (5)	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こまつばらカフェ」への定期的参加を行い、地域の方々との交流の機会を持つことができた</li> <li>・担当者会議へ、ケアマネ以外の職員ができるだけ参加できるよう勤務の調整等の工夫を行った</li> <li>・地域の方が時々ホームに来てくださるし、自分達も散歩に行った際、挨拶している</li> <li>・担当者会議への参加やその都度必要な情報を共有できている</li> </ul>	
いない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議やイベントへ参加、医療機関や他事業所との会議へ参加できる機会が少ない</li> <li>・担当者会議にケアマネ以外の職員の勤務調整ができないことが多く、参加する機会をなかなか作れない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程の早めの調整を行い、必要な会議や地域行事へより多くの職員が参加できるよう配慮することで、事業所内にとどまらない支援者としての幅を広げる機会を持てるようになる</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 15日 (19:00~20:00)

7. 運営

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人 (0)	8人 (6)	4人 (6)	1人 (3)	15人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの職員が関わる仕組み（勤務の調整や情報の提供など）を整備し、地域の中で必要とされている施設と言ってもらえるように取り組みを継続する。</li> <li>・運営推進会議内で出された「地域の課題、困りごと」について、当日の業務等で会議への職員参加が難しい場合、直近の職員会議やカンファレンス等で情報の共有を行うように取り組む。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取り組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般職員が地域イベントや会議へ参加する機会は十分ではなかったが、内容については詳細を報告し、伝達・共有することができている</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2 (0)	3 (10)	9 (4)	1 (2)	15 (16)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2 (0)	8 (11)	4 (3)	1 (1)	15 (15)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0 (0)	7 (8)	7 (4)	1 (2)	15 (14)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1 (0)	4 (6)	5 (5)	5 (3)	15 (14)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、介護者等からの意見や苦情は、その都度報告できており、毎月の職員会議でも話し合われている</li> <li>・運営推進会議への参加は出来なくても、職員会議での報告を受け、情報の共有はできている</li> <li>・地域に根ざした事業所になるため、地域の方々から（おあしすがある）と思われるよう、地域との交流を計画し実施に努めた</li> <li>・カフェ等で情報の共有ができている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で必要とされている拠点である為の事業所としての、地域と協働した積極的な取り組みができていない</li> <li>・事業所としてはできていたと思えるが、職員個人としては何もできていなかった</li> <li>・苦情を運営に反映するには苦情が少ない</li> <li>・事業所内だけに目がいき、地域との関わりが薄い</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議等では主体的に参加発言し、より良い事業所運営に全員が関わるようにする</li> <li>・運営推進会議や地域の方々との交流の機会を通し、地域のニーズや事業所への要望を伺い、また利用者、ご家族からのご要望・意見の把握に努め、常に事業所の運営改善に努める</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 1 月 15 日 (19:00~20:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人 (2)	11人 (8)	3人 (4)	0人 (1)	15人

前回の改善計画	・「ひやりはっと」の書式を全面的に見直し、記入するスタッフと共有するスタッフが共に理解しやすく、提出しやすいものへ変更し、対策や共有について取組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「ひやりはっと」報告書の書式変更は実施したが、「事故報告」以上に発生しているはずの「ひやりはっと」事例に関する報告は少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4 (5)	10 (8)	1 (2)	0 (1)	15 (16)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2 (1)	9 (8)	3 (6)	1 (1)	15 (16)
③	地域連絡会に参加していますか	2 (0)	3 (3)	1 (3)	9 (9)	15 (15)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 (0)	9 (9)	3 (4)	2 (2)	15 (15)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメントに取り組み、リスクを予測しながら仕事に臨んでいる</li> <li>・小規模連絡会の定期的な会合に参加している</li> <li>・自主的に研修へ参加している</li> <li>・研修に参加することで、自分に必要な事を学ぶことが出来た</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で学んだ事を事業所へ十分に伝えられていない</li> <li>・「地域連絡会」の活動や事業が分からない</li> <li>・夜の研修へはなかなか参加出来ない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小多機ホームの地域での役割りや質の向上を目指して他事業所との交流や学習の機会に、より多くの職員が参加できるような体制や日程の調整を図る</li> <li>・「ひやりはっと」報告の意識づけやミーティング等での活用など、本来のリスク予防対策としての取組みが継続・定着できるような工夫を行う</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 15日 (19:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 宮田 藤後 天野 大川内 岩重 柳田 山下 猿楽  
川崎 古賀 立中 上野 藤崎 堂地 森田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人 (12)	0人 (2)	0人 (0)	15人 (16)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束や虐待については、「ケアを提供する者として、絶対にしてはいけないこと」という基本を守りつつ、誰もがちょっとしたことで行ってしまうリスクを持っていることについて把握に努める。</li> <li>・注意されたことに対して、真摯に受け止める姿勢を持つように声掛けや学習などの取り組みを行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部の研修会でも定期的に「身体拘束や虐待」について学習し、日頃のケアの振り返りを実施してきた</li> <li>・「身体拘束・虐待」事例の報告はなかった</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5 (7)	9 (9)	1 (0)	0 (0)	15 (16)
②	虐待は行われていない	9 (8)	6 (8)	0 (0)	0 (0)	15 (16)
③	プライバシーが守られている	1 (4)	13 (10)	1 (2)	0 (0)	15 (16)
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1 (2)	5 (3)	1 (3)	7 (6)	0 (14)
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2 (4)	12 (10)	1 (1)	0 (1)	15 (15)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束や虐待は行われていない。何が身体拘束か虐待かを理解し、他の職員へも注意できている</li> <li>・身体拘束や虐待を常に意識してケアを行い、身体拘束をする事なくそれ以外の対応策を考える事ができた</li> <li>・プライバシーは守られている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの少ない時など、優先順位から「ちょっと待って」などと言ってしまうことがある</li> <li>また、「動かないで！」などの行動制限等、つい「スピーチロック」をしてしまっている事がある</li> <li>・現在、「成年後見制度」を活用する方がいない、成年後見制度への知識がない</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の為、安全のため、と思って発する言葉など「言葉による拘束」を実施していないか、常に意識しながらケアを振り返り、利用者の気持ちに寄り添い、利用者の意に沿わない行動制限を行わないようケアに望む</li> </ul>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	中道 浩二	法人・事業所の特徴 利用者様に「もうひとつの我が家」と思っただけけるよう、利用者様を中心に家庭的な雰囲気の中、おひとりおひとりに合わせた支援方法が提供できるよう、職員一同日々の取り組みを行っています。 利用者様やご家族に24時間安心して過ごしていただけるよう、通いを中心としながら、訪問・宿泊のサービスを適宜組み合わせることで、利用者様やご家族に安心していただいています。 日常的には、利用者様を中心としてケアを提供するため、送迎時や連絡帳でのご家族との情報交換を大切に、些細な変化も見落とさないように配慮を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす南谷山	管理者	宮田 敦代	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	1人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善点として出された課題についてはできる範囲で取り組みを行う。</li> <li>評価への取り組みについて継続して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画に対して、事業所として実現のために具体化して取り組んだが、依然として課題に残っている事もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員で評価活動に取り組んだ、事が良く分かりました。</li> <li>できなかった事に対しての改善計画が、今後実践されることを期待します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画はより具体的な内容で、取り組みやすいものにする。</li> <li>評価活動は定期的の実施し、各自が取り組みを振り返る機会を作る。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の花を置くなど、現在取り組んでいる事については継続して行う。</li> <li>掲示物については、新しい物が来た時点で張り替える等の取り組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様の作品や取り組み行事の写真など、見学者の方にも楽しんでいただけるよう掲示している。</li> <li>玄関や玄関入り口に季節の花を置くなど取り組み、来所された際馴染み易さを感じていただくよう心掛けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間、通ってきていますが、特に問題は感じていません。花などの好きな人の力を借りるのもいいかもしれませんね。</li> <li>サービス提供場所としてだけでなく、地域の方が『介護の事で困った時に相談できる場所』になっているかが問われていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄関等の美化活動に継続して取り組む。また、可能なら、利用者様やボランティアの方の協力もお願いする。</li> <li>『地域の介護相談どころ』としての存在を認識していただけるような工夫を行う。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>小松原カフェへの継続参加を基本として、参加するスタッフを増やす取り組みや利用者様の参加について検討する</li> <li>夏祭りの灯籠作成については、利用者様と一緒に作成、参加を継続して行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小松原カフェに継続して参加することができ、参加スタッフを増やしたり、利用者様も参加する機会を持つことができた。</li> <li>小松原公民館をお借りして、地域にむけての「認知症ケア」に関する講演会を開催することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小松原カフェに職員の方や利用者の方が来ていただいて、交流ができてうれしかったです。</li> <li>「小規模多機能ホーム」とは、どういふところなのかが分かりにくいと思います。もっと、広く知られるようにできると良いのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェをはじめ、地域の取り組みへの参加を継続し、地域の方々との交流を図ります。</li> <li>小規模事業所としての存在価値をアピールできるよう工夫を行う。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の生活地域における取組として実施している『軒下マップ』については、記入や把握についての取組みを継続して行う</li> <li>・町内の行事への参加については『町内会総会』『公園清掃』『夏祭り灯籠作成』『小松原カフェ』への参加を継続して行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの利用者様を取り巻く環境について、『軒下マップ』作りを行っているが、充分把握しきれず、全職員が取り組めるまでに至っていない。</li> <li>・町内会の行事等には、できる範囲内での協力や参加を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の『マップ』作成に、家族が記入するなど、関わってもらってはどうか。一人ひとりの背景が見えてくると思います。</li> <li>・定期的に推進会議も開かれて、その中で地域の方々の状況についても話し合うこともありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『軒下マップ作り』に引き続き取組み、一人ひとりの利用者様を取り巻く環境について把握し、支援に活かせるようにしていく。</li> <li>・利用者様の担当者会議や推進会議、地域の行事等への職員の参加を増やし、地域へ出かける活動の機会を持てるようにする。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の報告を会議終了後に作成しているので、直近の職員会議で報告を行い、職員に運営推進会議の内容についての情報伝達を行うようにする。</li> <li>・運営推進会議内で、直近の『ひやりはっと・事故報告』についての報告を行う機会を設けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者以外に、運営推進会議へ職員が参加できるようにした。また、職員会議で推進会議報告を行い、全職員が把握できるようにしている。</li> <li>・運営推進会議の中では、事故・ヒヤリハット事例や相談苦情等について、その内容や事業所の対応についても報告を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議に利用者の方が参加して、利用されている人の気持ちや状況を聞くことができて良かったです。</li> <li>・参加した職員も、地域の方々の意見を直接伺う機会に参加できて良かったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議には、引き続き利用者様の参加協力を依頼し、職員もできるだけ参加できるよう体制を整える。</li> <li>・事業所報告では、より具体的に事業所の取組みが伝わるようにする。</li> <li>・必要時事例検討を行い、地域の心配な方々の情報交換や共有を行う。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練に参加できなかった委員への周知方法として、次回の運営推進会議内で、訓練の内容、消防隊の講評等について報告する機会を設ける。</li> <li>・地域の防災訓練への参加について、日程調整が可能であれば、積極的に参加してみるよう取組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議メンバーの方も、消防訓練に参加していただき、消防隊の講評を一緒に聞く機会を持つことができた。</li> <li>・地域の防災訓練への参加する機会をもてなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から、清和小学校での訓練に変わったので、距離的に遠くになって参加しにくくなったと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練の機会に、運営推進会議メンバーも参加できるように日程調整を行う。</li> <li>・消防だけでなく、自然災害についての防災についても学習や意見交換の機会を持つようにする。</li> </ul>

